

平成27年 6 月定例会 市長提案説明

6 月定例会の開催に当たりまして、今議会に提案をいたしました議案の概要につきまして御説明申し上げます。

まず、既に公表いたしました下水道使用料の徴収誤りにつきましては、長年にわたり適切な対応をとってこなかったため、市民の皆様の信頼を損なうこととなり、市民及び議員の皆様方に対しまして、改めまして深くおわび申し上げます。

今回の件を重く受け止め、市政の総括責任者として、自主的に1か月間、私と両副市長の給料月額20%を減額することとし、今定例会におきまして、その内容を定めた条例を提出しております。

今後はこうしたことが生じないように、重大な案件は組織として対応し、部長等にも必要な情報が正しく伝わるように、体制の変革と対策を講じたところであり、私以下職員一同市民の皆様の信頼回復に努めてまいりますので、御理解のほどをよろしくお願い申し上げます。

さて、我が国の経済情勢であります。政府は5月の月例経済報告で、「景気は、緩やかな回復基調が続いている。」として基調判断を2か月連続で据え置いております。先行きにつきましては、雇用・所得環境の改善傾向が続くなかで、原油価格下落の影響や各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されております。

本市におきましては、地域住民生活等緊急支援のための交付金を活用しまして、地域における消費喚起を推進することを目的としたプレミアム付き商品券発行事業につきまして、岡崎商工会議所を主体に進めております。

地元での買い物等で使用できる「おかざき振興券」として8万セットの9億6,000万円、リフォームなどの各種建設工事を使途とした「おかざき建設券」として8千枚の4億4,000万円、総額で14億円を発行してまいります。

「おかざき振興券」は、千円券12枚綴りの1セットを販売価格1万円で、1世帯につき10セットまで購入できます。12枚の内訳につきましては、中小商店への配慮をしまして、売り場面積1,000㎡未満の中小店舗専用券を4枚と全ての登録店舗で利用できる共通券を8枚としております。申込みは、インターネットやはがきにより本日から17日まで受け付けております。

一方、「おかざき建設券」につきましては、1枚55,000円分の建設券を販売価格50,000円で、1世帯につき10枚まで購入できます。申込みは、今月10日から

19日までに「おかざき建設券取扱事業所」を通じまして、建設券申込書及び工事見積書を商工会議所へ提出していただきます。

どちらも発行額を上回る申込みがあった場合は抽選にて購入者を決定し、使用期間につきましては、7月10日から12月31日までとなっております。このプレミアム付き商品券の発行により、地元消費の拡大と地域経済の活性化につながることを期待しております。

また、平成26年4月からの消費税率の引上げによる負担を緩和するための暫定的・臨時的な措置としまして、前年度に引き続き、臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金が支給されます。子育て世帯臨時特例給付金は、6月分の児童手当の受給者を対象に児童1人当たり3,000円の支給となり、受付は本日からとなっております。一方、臨時福祉給付金は、市民税の均等割が課税されていない方を対象に6,000円の支給となり、受付は9月からを予定しております。いずれも対象者へ迅速かつ確実に支給できるよう万全を期してまいります。

さて、3月定例会で追加補正予算や本年度予算を御議決いただきましたが、早いもので既に2か月が経過いたしました。徐々に各種事業がスタートしておりますので、いくつかの事案につきまして御報告をさせていただきます。

まず、観光事業につきましては、徳川家康公顕彰四百年を記念し、イベントを充実させるとともに、観光客誘致活動やおもてなし環境の整備などにおきまして、新たな取組を活発に展開しているところであります。

桜まつり・家康行列では、徳川御宗家、徳川四天王及び幕末時の旧藩御当主が一堂に会し御参加いただくなど、記念事業にふさわしい格調高い内容となりました。続く、藤まつり・将棋まつりは、羽生善治名人と元メジャーリーガー田口壮氏の特別記念講演の開催などにより、市内外、また県外からも多くの参加がありました。今後開催いたします「岡崎城下家康公夏まつり」及び「花火大会」につきましても、家康公の遺徳をしのび、かつ、江戸という時代を再考できるような内容を盛り込みたいと考えております。

出陣5年目を迎えました、グレート家康公「葵」武将隊につきましては、岡崎公園二の丸能楽堂におきまして、12月の家康公生誕祭までの毎週火曜日と木曜日に、家康公誕生にまつわる伝説を描いた舞台「家康公生誕劇」を開催しております。このほど大手旅行会社により、この生誕劇を組み込んだ観劇ツアーが催行されることとなり観光客の増加を期待しているところであります。

そして、観光客や市民の皆様にも本市の観光資源を実感していただくため、家康公四百年祭記念特別企画として、岡崎の魅力がセットになったお得な2種

類のクーポン「家康公クーポン」と「竹千代クーポン」を販売しております。家康公ゆかりの地のスポット巡りや「家康公生誕劇」、ご当地グルメなど、岡崎を満喫していただけるものであります。これらのクーポンが使用できるメインとなる観光スポットの岡崎公園内では、「天下泰平マルシェ」と銘打った観光おもてなしイベントを、5月2日から土・日・祝日の特定日に開催しており、グルメや家康公四百年祭限定のお土産、地元野菜の販売など盛りだくさんの内容を皆様楽しんでいただいております。これらにより、観光産業都市への機運の醸成も図ってまいりたいと考えております。

また、観光案内の充実を図るため、昨年12月の名鉄東岡崎駅観光案内所のリニューアルオープンに続き、夏にはJR岡崎駅にも観光案内所を新設する準備を進めております。

さらに、本市の歴史資産をストーリー性のある案内ができる「歴史かたり人」を養成し、市内に点在する神社・仏閣などの歴史遺産を「歴史かたり人」が案内する観光バスツアーを5月からモデル的に開始しており、今後の事業化に向け検証してまいります。

次に、乙川リバーフロント地区整備につきましては、3月30日に愛知県が管理する河川としては初めて「乙川リバーフロント地区かわまちづくり」として、国の「かわまちづくり支援制度」に登録されました。この登録によって、河川占用要件の緩和に加えて、既設のスロープや階段の整備につきましても愛知県の協力をいただけることとなり、今後、具体的な協議を進めてまいります。また、乙川リバーフロント地区整備に係る社会資本整備総合交付金につきましては、都市再構築戦略事業に採択されたことにより交付対象事業費に対する交付率がかさ上げされ、施設整備などのハード事業だけでなく、まちづくりのためのソフト事業の要望に対しても全額を認めていただきました。これは、国が進めます「コンパクトシティ プラス ネットワーク」の主旨のもと、良好な環境を持つ乙川の水辺空間を整備し、歩行空間や交通ネットワークを整えとともに、民間施設を地区内に誘導することで、中心市街地の活性化を図り、さらに、将来の岡崎市の人口構造を踏まえた、適正なまちづくりの拠点を形成していくという本市の考えが国に理解されたものと考えております。

今年度からは、乙川リバーフロント地区の整備を推進するとともに、官民が緊密に連携し、ハード・ソフト両面の施策を民間も含めて総合的に展開し、本市の活性化につなげてまいります。

なお、地区のシンボルとなります（仮称）乙川人道橋につきましては、市民の皆様にあふれる愛着と誇りを持っていただけるよう、市民や児童・生徒に御協力いただきながら、名称を公募し、市制100周年にあたる来年、公表したいと考えてお

ります。

次に、児童福祉施策におきましては、7月から「産前産後ホームヘルプサービス事業」を新たに実施いたします。妊娠中や出産後の体調不良等により、家事や育児が困難であり、かつ、日中に家族からの支援が受けられない方を対象に応分の負担をいただき、ホームヘルパー等を派遣して、家事や育児の支援を行います。これにより、母親への身体的・精神的な負担の軽減と安定した育児環境の確保を図ってまいります。

続きまして、愛知県との協働事業で実施いたします健康マイレージ事業につきましては、「おかざき健康“まめ”チャレンジ」という名称で本日から事業の参加に必要なチャレンジシートの配布を開始いたしました。

9月には、一定のポイントをためた方へ県内の協力店で様々な特典が受けられる優待カード MyCa（まいか）の交付を開始するとともに、本市独自の特典として2月に抽選を予定しております獲得ポイントに応じた賞品応募カタログを公表いたします。今までにない「お得感」という新たな魅力を持つ健康づくりの施策として、健康寿命の延伸と健康格差の縮小に向けた市民の主体的な健康づくりへの取組を支援してまいります。

次に、昨年度から準備を進めております、市南部への大学病院の誘致に関しましては、3月に学校法人藤田学園との間に新たな協定を締結し、病床数は入院病床を400床規模とすることや、病院用地は市が10年間無償で提供することなどについて基本合意をいたしました。また、今年度からは、地元医師会などを交えて大学病院開院後の地域医療全体の在り方や役割分担について意見交換を行うなど、大学病院の建設が地域医療全体の好機となるよう努めてまいります。

最後に、市制100周年記念事業であります、「市民と創る、新世紀岡崎」の基本理念のもと、今年度を実施するプレ事業なども含め、市制100周年の平成28年度に向けて各事業の実施や準備を進めております。

100周年記念事業が目指す市民参加による事業の象徴として進めております市民プロジェクト支援事業の「新世紀岡崎チャレンジ100」であります。3月から4月にかけて実施しました事前説明会におきまして、265団体の参加があり、大変高い関心をいただいております。秋には実施事業を決定していきたいと考えておりますが、市民がより魅力ある岡崎を目指して取り組んでいただくプロジェクトとして、期待をしているところであります。

また、地域において積み重ねてきた歴史や文化、逸話や自然、景観などを「地

域の自慢」として1冊の本にまとめていく「岡崎まちものがたり作成事業」は、総代会連絡協議会を中心に各学区における作成委員会の立ち上げを進めていただいているところであります。

そのほか、桜を愛護しながら新たな桜の名所づくりを進める「さくら100年プロジェクト」であります。桜の育成や保護に関する知識と管理技術を学ぶ「桜守養成講座」を5月から開催しており、先人から受け継いだ本市の財産を次の世代に受け継いでいきたいと考えております。また、今年度から予定しております桜の植樹につきましては、11月からの植樹に向けて準備を進めているところであります。今年度、市制100周年である平成28年度と平成29年度の3か年計画で植樹を進めていき、市民と一緒に「桜」を活かしたまちづくりを進めてまいります。

それでは、本議会に提案をいたしております議案について説明をさせていただきます。

まず、条例議案であります。制定条例といたしましては、冒頭で申し上げました「市長等の給料の月額の特例に関する条例」、発達に心配のあるお子さんに関する相談、医療などを総合的に提供する新しい施設を設置します「こども発達センター条例」、快適で秩序と魅力のあるまちづくりを進めるために、本市の土地利用の基本理念や基本計画を定めることとする「土地利用基本条例」の3件でございます。改正条例といたしましては、こども発達センターの設置に合わせまして規定を整備します「福祉の村条例」、指定管理者がより効果的、効率的なサービスを提供できるよう施設利用の料金を指定管理者の収入として收受させる「勤労文化センター条例」、東部学校給食センターの移転、9月からの稼働に伴いまして、旧額田地域の小中学校の給食についても当該センターで調理を行うこととする「学校給食センター条例」、ほか3件でございます。合わせて9件を提案させていただいております。

その他議案といたしましては、老朽化などの問題を抱える市民会館について、舞台環境の改善と外部のバリアフリー化を図り、文化芸術振興の拠点として再生するための大規模改修工事を行う「工事請負契約議案」、より質の高い公共サービスを提供するため、民間の経営能力やノウハウを活用するPFI方式により実施するこども発達センターの事業契約を行う「特定事業契約議案」と、その福祉関連施設の管理を行う者を定める「指定管理者の指定議案」など13件を提案させていただいております。

次に、補正予算議案であります。一般会計は1,915万円の増額、企業会計は、病院事業会計で791万6千円の増額補正をお願いしております。

一般会計は、議会費では、議員1人の辞職に伴う議員報酬等の減額、民生費

では、指定寄附の福祉基金への積立て、農林業費では、県補助金の増額に伴う林道施設工事請負費の増額、土木費では、東岡崎駅周辺地区整備地区内において、推定地の外に遺跡が広がる状況が確認されたことに伴う、平岩城跡埋蔵文化財の発掘調査に係る委託料の計上、教育費では、指定寄附に伴い、家康関連郷土図書の購入費の増額などをお願いしており、これらの補正財源といたしまして、県支出金、繰越金、市債などにより収支の均衡を図っております。

また、企業会計の病院事業会計では、議案でも提出しておりますが、医療事故について、相手方と調停による和解が成立する見込みとなりましたことから、賠償金を予算計上するものであります。

以上が、今議会に提案をいたしました議案の大要であります。

最後になりましたが、3年ごとに開催されます現代アート国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2016」が、前回の平成25年度に続き、地域会場として岡崎市で開催されることが決定されました。そのテーマは「虹のキャラヴァンサライ 創造する人間の旅」とし、先端的で祝祭感あふれる現代アートのまちなか展開を図ることにより、まちの魅力を引き出し、にぎわいを創出してまいります。前回の開催では、「オカザえもん」の活躍により、大きな成果を挙げることができましたが、次回も「オカザえもん」とその作者であります「斉と公平太さん」にも御協力をお願いし、市制施行100周年を飾る現代アートの祭典を通して、本市の魅力を全国、全世界に向け発信してまいりたいと考えております。

以上、御説明を申し上げますとともに、提出をいたしております諸議案につきまして、よろしく御審議の上、御議決を賜りますようお願い申し上げます、説明を終えさせていただきます。

ありがとうございました。